

# ILO条約採択で

# 職場のハラスメントと暴力を根絶しよう!

5月末からのILO総会では、「職場における男女に対する暴力とハラスメント」が議題として取り上げられます。連合はITUC（国際労働組合総連合）と連携し、あらゆる暴力とハラスメントの根絶に向けて、ILO条約採択をめざしています。はたしてハラスメントの実態とは？



(監修：連合 総合男女・雇用平等局)

## 課題

職場のパワハラなど  
ハラスメント全般を

**規制する法律がない!**



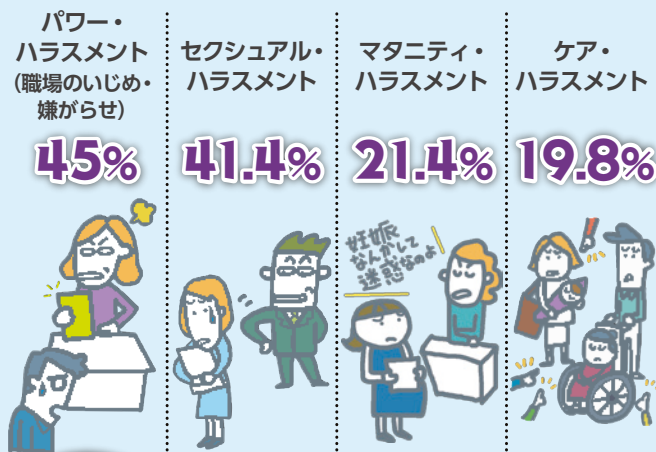
セクハラ、マタハラ、  
ケアハラ（育児・介護休業等）は  
防止措置のみで

**禁止規定ではない!**

日本の実態

連合調査によると

職場で受けた・見聞きしたハラスメント



法律の規制なし!

男女雇用機会均等法

育児・介護休業法

働く人の半数以上が  
職場にハラスメントが  
あると感じている!



ハラスメントを受けたときの変化

- 仕事へのやる気の喪失 ..... 47.2%
- 心身の不調 ..... 33.1%
- 不眠 ..... 19.3%
- 退職・転職 ..... 18.9%
- 自分の存在価値の喪失 ..... 15.7%

[出典] 連合 ハラスメントと暴力に関する実態調査 (2017年)

ILO総会で条約が採択されると...

労働者の強い味方に! & 国内法を変える原動力に!

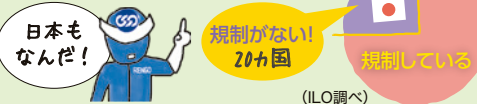
そのため

## 課題

約4分の1の国が

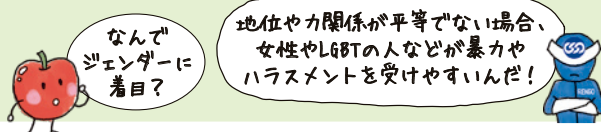
**規制を行っていない!**

職場の暴力やハラスメント全般に関する  
規制を行っているか? (80カ国中)



長年「ジェンダーに基づく暴力」に  
関するILO条約を求めてきたが、

**まだ成立していない!**



世界の实態

全世界の16歳以上の女性の**35%**  
(8億1800万人)が家庭やコミュニティ、  
職場で性暴力や身体的暴力を受けている  
(WHO調べ)



ハラスメントや暴力はこんなことに影響が...

身体的・精神的に  
深刻なダメージが...

欠勤につながる、  
昇進が遅れる、失業につながる

経済的・社会的ポジションの  
制限につながる



**連合は**  
暴力とハラスメントを根絶し、  
すべての人が安心して働ける  
社会の実現をめざしています!

- 条約採択にむけて、取り組みます
- 国内の実態把握・課題周知に  
取り組みます
- 政策と運動の両面で  
ハラスメント根絶に取り組みます

**世界 (ITUC) では**  
「ストップ! 仕事における  
ジェンダーに基づいた暴力」  
キャンペーンを展開しています!

- ILO条約・勧告の  
採択に必要な支持を  
集めます
- 労働組合の取り組みを  
強化します



このページは連合HPでも配信! 機関紙等にご活用ください。